

第 190 回 学長定例記者会見

日時：令和 8 年 4 月 23 日（木） 11：00 ～ 11：30

場所：広島大学 霞キャンパス 臨床管理棟 3 階 大会議室

（広島市南区霞 1-2-3）

※ テレビ会議システムによる配信は行わない

※ YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. “走る集中治療室（ICU）” が文部科学省事業採択  
広島大学病院は日本初の高規格病院救急車を導入しました
2. 文部科学省「留学生就職促進教育プログラム」に広島大学留学生キャリア形成促進プログラムが認定されました
3. 広島大学東広島キャンパスのシンボル「フェニックスタワー」デザインをリニューアルし、4月 20 日に一般公開
4. 局所進行肺がんに新たな治療戦略  
新規 PAI-1 阻害剤の医師主導治験を開始

【お知らせ事項】

1. 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」の取り組みに関する報告
2. 分野別 QS 世界大学ランキング 2026 で本学の複数分野が国内トップ 10 にランクインしました
3. 文部科学省「令和 7 年度大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰」において、本学情報科学部の「長期フィールドワーク」の取り組みが「優秀賞」を受賞
4. 世界最高峰の響きをキャンパスへ  
—スタインウェイなど名器ピアノ 2 台の寄贈を受け、披露演奏会を開催—  
（6/28 開催）
5. 両生類研究センターの週末開放イベント  
身近な種から海外の珍しい種まで、さまざまなカエルやイモリたちを一般公開します（5/23、6/20 開催）
6. 「海洋文化都市くれ海博 2026」を呉市で開催  
～呉市と広島大学が連携して推進する「Town & Gown 構想」の取り

組みの一環～（5/30-31 開催）

7. 本学の提案課題が、令和 8 年度「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）」に採択されました  
～ベトナム・ダナン市でカーボンニュートラルと健康都市の同時実現に向け、都市政策を AI 駆動で最適化する日越連携による新たな国際共同研究を開始～
8. 広島大学法学部では湯崎英彦客員教授（前広島県知事）の授業を開講します

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和 8 年 5 月 29 日（金）

場所： 広島大学 東広島キャンパス

令和 8 年 4 月 23 日

“走る集中治療室（ICU）” が文部科学省事業採択  
広島大学病院は日本初の高規格病院救急車を導入しました

広島大学病院は、令和 6 年度補正予算の文部科学省高度医療人材養成事業（大学病院における医療人材養成環境の更なる高度化）の採択を受け、高規格病院救急車、遠隔 ICU システム及び内視鏡 AI システムなどを整備しました。その中の一つである重症患者搬送に特化した高規格病院救急車は、心肺補助装置（ECMO）や人工呼吸器を装着した重症患者を安全に搬送できる装備と、遠隔医療（Telecritical care）機能を併せ持つ日本初の取り組みです。従来の「患者を待つ医療」から「現場へ向かう医療」の役割も担い、広島県全域の救命率向上に貢献します。地域の医療機関のスタッフや臨床実習中の学生に対する教育にも利用し、災害時には治療と搬送も担います。

下記の通り、お披露目をいたします。ご多忙のところ恐縮でございますが、ぜひご参加ください。

## 記

期 日 4 月 28 日（火）13 時

集合場所 広島大学病院臨床管理棟 2 階 2F1 会議室

ご挨拶とご説明の後、実車をご取材いただきます

※詳細は別途プレスリリースにてご案内いたします。

## 【背景】

重症患者は、高度医療機関へ集約することで救命率が向上します。しかし従来の救急車では、搬送中の状態悪化、医療機器の制約、長距離搬送のリスクといった課題がありました。特にコロナ禍にあっては、ECMO 装着患者の搬送ニーズが増加し、「超重症患者を安全に運ぶ手段」の必要性が強く認識されました。

## 【仕様・特徴】

本車両はマイクロバスを改造した大型救急車で、

- ・最大搭乗人数：8 人（患者を含む）
- ・大容量の酸素・電源を搭載
- ・心肺補助装置・人工呼吸器の安定運用が可能

といった特徴を持ち、「搬送中も集中治療を継続できる環境」を実現しています。



依頼元から広島大学病院の高度救命救急センターへの電話連絡により出動します。出動エリアは広島県全域を想定していますが、広島大学病院から比較的近い地域については島根県や山口県の一部も対象となる可能性があります。運転は主に、広島大学病院の救急救命士が担当します。

#### ■ 遠隔医療（Telecritical care）機能

搬送中に、依頼元病院・救急車内・広島大学病院の間で、リアルタイムで情報共有が可能です。これにより、到着前に治療方針を決定し、到着後すぐに治療を開始できます。5G通信で接続するパソコンと通信システム、「Teladoc」と呼ばれる高解像度の遠隔操作カメラを搭載しています。これにより、広島大学病院から、救急車の患者のデータや映像情報を把握し、状態を評価することができます。

#### ■ 高度医療人材養成事業（大学病院における医療人材養成環境の更なる高度化）

本事業は全国の大学から73件の申請があり、広島大学の「遠隔支援・AIを活用した次世代地域医療人材の育成モデルー広島モデルー」を含む27件の事業が選定されました。広島大学は、高規格病院救急車のほか、

- ・広島大学病院と広島県内の病院のICU（集中治療室）を結び遠隔診療支援するシステム
- ・胃・大腸の内視鏡画像から病変をAIが拾い上げ医師の診断を補助するシステム
- ・CT（コンピューター断層撮影装置）やMRI（磁気共鳴画像診断装置）の画像から高精度な3D画像を描出・解析し裸眼での立体視を可能にするシステムの計4件に計1億9千万円の交付を受けました。

#### 【お問い合わせ先】

広島大学大学院医系科学研究科 救急集中治療医学 広島大学病院 救急集中治療科 Tel：082-257-5456 FAX：082-257-5589 E-mail：kyukyu@hiroshima-u.ac.jp
---

令和 8 年 4 月 23 日

**文部科学省「留学生就職促進教育プログラム」に  
広島大学留学生キャリア形成促進プログラムが認定されました**

2026 年 3 月 25 日、文部科学省「留学生就職促進教育プログラム認定制度」に広島大学留学生キャリア形成促進プログラムが認定されました。

この制度は、留学生に対する「日本語教育」、「キャリア教育(日本企業論等)」、「インターンシップ」を一体として提供する質の高いプログラムを文部科学省が認定し、当該プログラム修了者が、就職活動において各大学が発行する修了証明書を提示することにより、外国人留学生の国内企業などへの就職を一層促進することを目的として実施されています。

本学では、留学生がグローバルな視点をもって社会で活躍できるキャリア形成支援を目的として、広島大学留学生キャリア形成促進プログラムを実施します。これとあわせて、留学生へのキャリア形成支援の充実を図り、日本国内での就職促進に積極的に取り組みます。

■文部科学省 留学生就職促進教育プログラム認定制度

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/ryugaku/1386454\\_00035.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1386454_00035.htm)

■広島大学 留学生キャリア形成促進プログラム(2026 年 10 月から開始)

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/ryugakusei>

【履修要件】

大学院博士課程前期および博士課程・博士課程後期に在籍し、日本国内での就職を目指す外国人留学生で、本プログラム登録時点において日本語教育の参照枠 C1・日本語能力試験 N1 相当の日本語能力のある者とする。

【履修定員】

20 人

※別紙参考資料あり

【お問い合わせ先】

教育室教育部キャリア支援グループ  
副グループリーダー 長谷川 裕子  
TEL:082-424-6986  
E-mail: career-fuku@office.hiroshima-u.ac.jp

# 留学生キャリア形成促進プログラム

## 【目的】

- 「留学生キャリア形成促進プログラム」を提供することにより、本学の外国人留学生の日本への就職を促進
- 本プログラムを通じて、外国人留学生の就職・フォローアップまでの支援を実効的に行う体制を整備
- 地域企業等の協力の下、キャリア形成支援体制の整備・強化を図ることで、本学が取り組む地方公共団体や地域の企業等との連携による外国人留学生の受入れ・定着支援に好循環を生み出す

## 【概要】

履修定員：20名

- 履修要件
- (1) 広島大学に在籍する正規の学生であること
  - (2) 大学院大学院博士課程前期及び博士課程・博士課程後期に在籍する者
  - (3) 日本国内での就職を目指す外国人留学生であること
  - (4) 日本語教育の参照枠C1・日本語能力試験N1相当の日本語能力のある者

### 日本語教育

ビジネス日本語（1単位）

実務日本語（2単位）

### キャリア教育

留学生のためのキャリアマネジメント講座A（1単位）

留学生のためのキャリアマネジメント講座B（1単位）

### インターンシップ

長期インターンシップ  
1か月程度（事前事後指導含む）  
（2単位）

### マッチング支援

企業説明会開催

企業と留学生の  
交流会開催

キャリアセミナー

企業訪問支援

個別相談

## 【体制】

### マッチング支援

HiCIS

広島県留生活活躍支援センター



東広島市

### 実施主体

広島大学

グローバルキャリアデザインセンター

森戸国際高等教育学院

グローバルラーニングセンター

### 協力企業（インターンシップ）

DAISO



Hilton



良和ハウス

サマケ

FOR THE STAY™

平山郁夫美術館  
Hirayama Ikuo Museum of Art

KAUTEX  
A Textron Company

eclect  
CX SOLUTION COMPANY

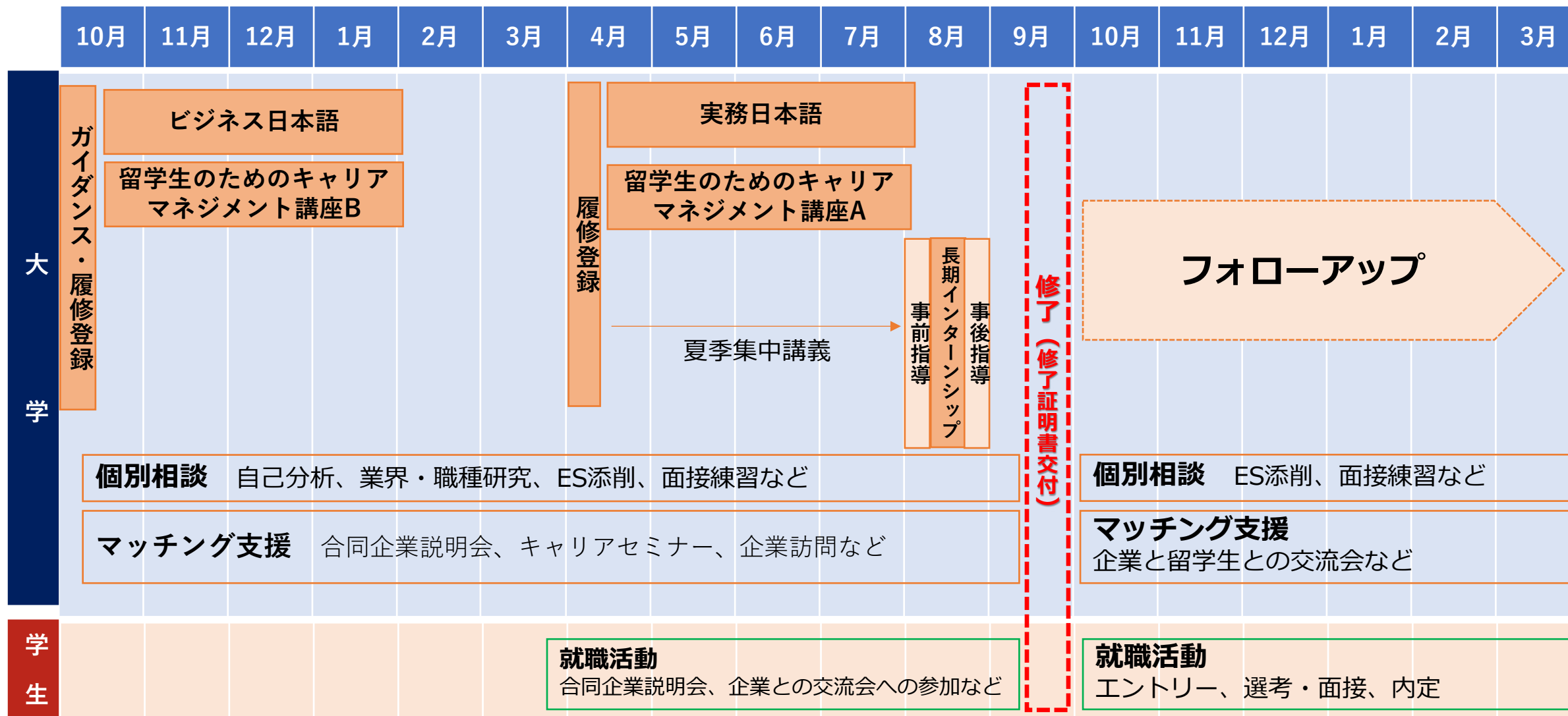
株式会社 タケウチ 建設  
Takeuchi Construction Inc.

まつやゼロファン株式会社

micron

# 留学生キャリア形成促進プログラム 履修モデル

- プログラムの開講時期は後期に設定
- プログラム修了後も継続的にフォローアップ



令和 8 年 4 月 23 日

**広島大学東広島キャンパスのシンボル「フェニックスタワー」  
デザインをリニューアルし、4月20日に一般公開**

このたび、東広島キャンパス内に設置されている「フェニックスタワー」の外観デザインをリニューアルし、2026年4月末に公開します。

本リニューアルは、キャンパス環境の魅力向上と、大学の象徴的景観の刷新を目的とした取り組みです。

**■ 背景・目的**

東広島キャンパス内に位置する「フェニックスタワー」は、広島大学の東広島キャンパス整備に伴って設置されたエネルギーセンターの煙突で、キャンパス移転期の1990年代前半に建設されています。エネルギーセンターの煙突を再利用する形で2000年3月にフェニックスタワーとして再整備されました。

長年にわたりキャンパスのランドマークとして親しまれてきましたが、施設の老朽化や景観面での更新の必要性を踏まえ、以下の観点からデザインリニューアルを実施しました。

- ・ キャンパスの景観価値の向上
- ・ 学生・教職員・地域住民に親しまれる新たなシンボル創出
- ・ 「持続可能性」や「未来志向」を象徴するデザインの導入

**■ リニューアルの特徴**

- ・ 新デザインの採用  
大学の理念や未来志向を表現した外観デザインに刷新
- ・ 視認性の向上  
遠景からも印象的に認識できる配色・構成
- ・ 環境との調和  
周辺の自然環境や建築群との一体感を重視

**■ デザイン**

- ・ ひとくわた とおる 一鍬田 徹教授

(大学院人間社会科学研究所/教育学部 造形芸術教育学領域 彫刻)

**■ 公開について**

- ・ 公開時期：2026年4月20日(月)
- ・ 一般見学：キャンパス内から自由に観覧可能

**■ 高さ約40m、直径約5.1m**

【お問い合わせ先】

財務・総務室 施設部

施設整備グループ 志和 充将

TEL:082-424-6112 FAX:082-424-6120





令和 8 年 4 月 23 日

局所進行肺がんになたな治療戦略  
新規 PAI-1 阻害剤の医師主導治験を開始

広島大学病院では、遠隔転移を認めない局所進行非小細胞肺がんのうち、根治手術が困難な患者を対象に、新規 PAI-1 阻害剤 TM5614 を用いた新たながん治療法の医師主導第Ⅱ相治験を開始します。

この件について、記者説明会を開きますので、ご多忙とは存じますが、ぜひご参加ください。

記

日時：令和 8 年 4 月 23 日（木） 11 時 35 分～12 時 00 分

場所：広島大学病院臨床管理棟 3 階 大会議室（広島市南区霞 1-2-3）

出席者：広島大学病院呼吸器内科 益田 武 特定准教授

【本治験のポイント】

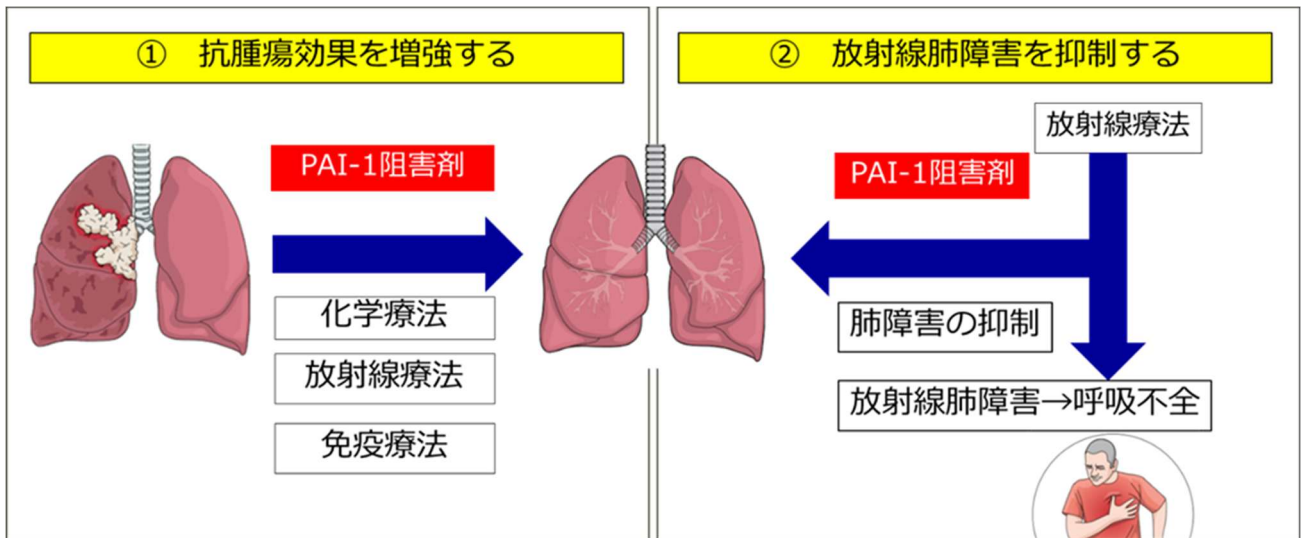
- ・令和 8 年度 AMED（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）の臨床研究・治験推進研究事業に採択され、局所進行非小細胞肺がんに対する新たな治療法の医師主導治験を開始
- ・新規低分子医薬「TM5614」により抗腫瘍効果の増強と治療関連肺障害の抑制を同時に目指す
- ・広島大学を中心に中国・四国・関西・東北地方の 13 病院が連携して実施
- ・本研究の一部は、日本学術振興会 J-PEAKS の支援を受けており、広島大学では今後も本支援により創薬研究を推進していきます。

【背景・治験内容】

局所進行非小細胞肺がんに対する現在の標準治療は、化学放射線療法に続いて免疫チェックポイント阻害薬による地固め療法を行いますが、この治療によって肺がんが根治する患者は約 25%にとどまっており、より有効な治療方法の開発が必要です。また、治療関連の肺障害による生活の質（QOL）の低下も課題となっています。

TM5614 は、PAI-1（Plasminogen activator inhibitor-1）の働きを抑えることで、抗腫瘍効果の増強と治療関連肺障害の抑制という二つの作用を併せ持つ可能性が示されています。

本研究では、広島大学を中心に中国・四国・関西・東北地方の 13 病院が連携し、標準治療である化学放射線療法および免疫チェックポイント阻害薬による治療に TM5614 を併用する医師主導第Ⅱ相治験を実施し、有効性と安全性を検討します。



### 【用語解説】

- ・局所進行非小細胞肺癌: 肺にできたがんが周囲の組織やリンパ節に広がっているものの、遠くの臓器には転移していない状態の肺癌
- ・PAI-1: 血液の線溶系を調節するタンパク質であり、がんの進展や治療に対する耐性に関与することが報告されています
- ・TM5614: 東北大学との共同研究により、非臨床、臨床試験により化学放射線療法、免疫療法の抗腫瘍効果の増強と肺障害の抑制効果という 2 つの作用を併せ持つ可能性が示されています
- ・免疫チェックポイント阻害薬: がん細胞が免疫細胞による攻撃を逃れるしくみに働きかけ、免疫細胞の力を回復させる治療薬
- ・治療関連肺障害: 肺に炎症やダメージが生じ、呼吸機能が低下する状態
- ・J-PEAKS (地域中核・特色ある研究大学強化促進事業): 地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営の下、他大学と連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力強化を図る環境整備を支援することにより、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的としています。

【参考】 [https://www.amed.go.jp/koubo/11/01/1101C\\_00058.html](https://www.amed.go.jp/koubo/11/01/1101C_00058.html)

### 【お問い合わせ先】

広島大学病院呼吸器内科 特定准教授 益田 武  
 Tel : 082-257-5196  
 E-mail : ta-masuda@hiroshima-u.ac.jp

令和 8 年 4 月 23 日

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業  
(通称 J-PEAKS)」の取り組みに関する報告

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、一昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(通称 J-PEAKS)」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線(UV)領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取り組みについて、最新情報をお知らせします。

(1) 伝統生薬の知恵を科学で解明：

ショウガ由来の細胞外小胞による関節リウマチ治療の可能性

本学 J-PEAKS 重点領域の一つである「再生・細胞医療・創薬領域」において、医系科学研究科の中佐智幸准教授、安達伸生教授らの研究グループは、ショウガ由来の「細胞外小胞<sup>\*1</sup>」が経口投与によって関節リウマチの症状を軽減する可能性があることを明らかにしました。

ショウガは古くから漢方薬「生姜(ショウキョウ)」として抗炎症作用が知られてきましたが、その科学的機序は未解明でした。本研究において、研究グループはショウガの細胞から放出される細胞外小胞という「小さな粒」に着目。この小胞が経口投与によって体内に取り込まれ、小胞内のマイクロ RNA などの働きにより炎症を抑え、関節症状の緩和に寄与することを解明しました。

関節リウマチでは安価で安全性の高い治療法の開発が求められており、本研究は食品由来の成分を利用した新たな治療につながる成果として注目されています。本成果を通じて研究・イノベーションを加速させ、J-PEAKS が掲げる次世代医療の実現に大きく貢献することが期待されています。

本成果は、国際学術誌「Molecular Therapy - Nucleic Acids」に掲載されました。

(※1) 細胞外小胞：動植物の細胞から分泌される非常に小さな粒で、細胞の機能を調節するマイクロ RNA などを含む。細胞に取り込まれ、生体内で細胞間の情報伝達を担う。

【発表論文】 Kaneta H, Nakasa T, Yimiti D, Moriwaki D, Kawasaki R, Ogura T, Miyaki S, Adachi N. Oral ginger-derived extracellular vesicles ameliorate arthritis via anti-inflammatory actions of microRNA-149 and 6-gingerol. *Mol Ther Nucleic Acids*. 2026 Jan 19;37(1):102840. (<https://doi.org/10.1016/j.omtn.2026.102840>)

## (2) J-PEAKS 導入研究機器の「デジタルパンフレット」を公開しました

本学は、J-PEAKS 事業の「人・知・資源の好循環」実現に向け、高度な研究環境整備と機器共用化を推進しています。このたび、本事業で導入した先端研究機器の「デジタルパンフレット」の学内公開を開始しました。

本デジタルパンフレットは研究基盤の「見える化」の一環であり、本学に導入した研究機器の情報を紹介し、共同利用を促進します。研究共用基盤の利用促進により、革新的な異分野融合研究の創出を強力に支援します。

また、研究の高度化を図るため「機器説明会」を定期開催し、次回は令和 7 年 6 月頃を予定しています。本学はこうした高度な基盤を核に、次世代の研究力を牽引するエコシステムの構築と成果の社会実装を目指します。



### ◆詳細ページ

<https://j-peaks.hiroshima-u.ac.jp/news/news-246/>



### 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的とした事業。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。

広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されています（体系的番号：JPJS00420230011）。

### 【お問い合わせ先】

学術・社会連携室  
未来共創科学研究本部  
研究戦略部 研究戦略推進部門 宮良  
TEL: 070-6645-2583  
Mail: [gakujutu-ura-gl@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:gakujutu-ura-gl@office.hiroshima-u.ac.jp)

令和 8 年 4 月 23 日

**分野別 QS 世界大学ランキング 2026 で  
本学の複数分野が国内トップ 10 にランクインしました**

本学は、英国の大学評価機関 Quacquarelli Symonds が 2026 年 3 月 25 日に発表した「QS World University Rankings by Subject 2026（分野別 QS 世界大学ランキング 2026）」において、1 つの大分野および 8 つの小分野で国内トップ 10 にランクインしました。

本学は、総合研究大学としての強みを活かし、分野横断的に高い評価を得ています。

**【トップ 10 にランクインした分野】****■大分野**

- ・生命科学・医学：国内 10 位

**■小分野**

- ・歯学：国内 2 位タイ
- ・石油工学：国内 3 位タイ
- ・農学・林学：国内 9 位タイ
- ・教育学：国内 3 位タイ
- ・言語学：国内 10 位タイ
- ・社会学：国内 9 位タイ
- ・環境科学：国内 9 位
- ・医学：国内 10 位タイ

**【分野別 QS 世界大学ランキングの概要】**

分野別 QS 世界大学ランキングは、以下の指標により世界の大学を評価するものです。

- ・学術関係者の評価
- ・雇用者評価
- ・論文の被引用数
- ・H-index（研究者の影響力指標）
- ・国際研究ネットワーク

これらをもとに、5 つの大分野・55 の小分野で評価が行われています。

**【本学の強みと今後の展望】**

本学は、人文・社会科学系から自然科学系まで幅広い分野を擁する総合研究大学として各分野における研究力の向上に取り組んできました。今回の結果はその研究成果が国際的に評価されたものです。

今後も各分野の研究力を活かし、国際的なプレゼンスの向上に努めてまいります。

【お問い合わせ先】

広島大学総合戦略室総合戦略グループ

Email : [u-strategy@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:u-strategy@office.hiroshima-u.ac.jp)

令和 8 年 4 月 23 日

**文部科学省「令和 7 年度大学等における  
学生のキャリア形成支援活動表彰」において、  
本学情報科学部の「長期フィールドワーク」の取り組みが  
「優秀賞」を受賞**

2026 年 3 月 30 日、文部科学省「令和 7 年度大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰」において、本学情報科学部の「長期フィールドワークⅠ」および「長期フィールドワークⅡ」の取り組みが「優秀賞」を受賞しました。

本表彰は、学生の能力伸長に寄与するなど高い教育的効果を発揮し、他の大学等や企業に普及するにふさわしいモデルとなり得るキャリア形成支援活動をグッドプラクティスとして表彰し、その成果を広く普及することを目的として実施されるものです。

全国の大学から 46 件の応募があり、「優秀賞」には本学の取り組みを含む 3 件が選定されました。

本取り組みは、基礎科目から演習、長期フィールドワークへと段階的に学修を積み上げる体系を、卒業論文に代わる必修科目として正規課程に位置付けています。また、3・4 年次に 4 か月間の就業体験を配置し、高度 DX 人材の育成を見据え、実際の企業課題に長期間関わることができる教育設計となっており、大学での学修と企業現場での実践を往還させる仕組みを構築しています。

2025 年度は、18 人の学生が計 11 社の企業（マツダ株式会社、マイクロンメモリジャパンほか）で実習を行いました。学生は長期就業体験を通じて職業観・キャリア意識が向上し、卒業後の進路選択に具体的な展望を持つことができるようになり、企業にとっても、学生の新しい視点や技術が組織に刺激を与え、若手育成や採用戦略に好影響をもたらしています。

さらに、派遣前後のスキル測定やアンケートによる定量的評価に加え、卒業後の進路まで追跡する長期的な調査を実施し、得られた結果を教育改善へ反映する PDCA サイクルが機能しています。短期的な成果だけでなく、キャリア形成上の効果を継続的に把握する仕組みが整備されており、実習の教育的意義を多角的に検証する体制が構築されている点が高く評価されました。

■ 文部科学省 大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/internship/1408338.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/internship/1408338.htm)

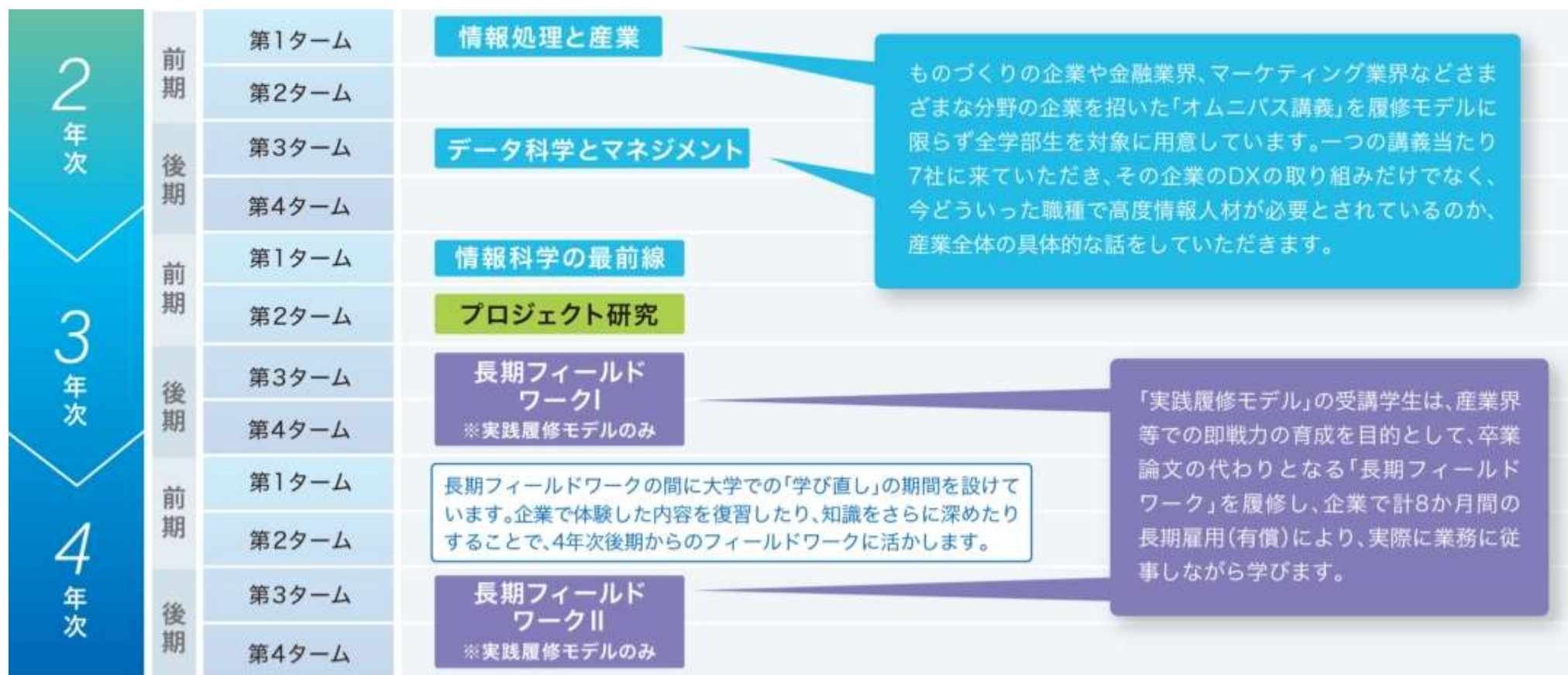
■ 広島大学情報科学部 コーオペ教育プログラム  
<https://coop.hiroshima-u.ac.jp/>

※別紙参考資料あり

【お問い合わせ先】

教育室教育部キャリア支援グループ  
副グループリーダー 長谷川 裕子  
TEL:082-424-6986  
E-mail : career-fuku@office.hiroshima-u.ac.jp

別紙：広島大学情報科学部コーオプ教育プログラム 実践・実務科目の流れ



# 令和7年度大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰の概要について

**目的** 学生の能力伸長に寄与するなどの高い教育的効果を発揮しており、他の大学等や企業等に普及するのに相応しいモデルとなり得る、産学協働による学生のキャリア形成支援活動を、グッドプラクティスとして表彰し、その成果を広く普及する。

公募期間：令和7年11月4日～12月19日

申請対象：令和6年度又は令和7年度に大学・短期大学・高等専門学校において実施された学生のキャリア形成支援に係る取組のうち下記の選考基準を満たすもの

申請件数：46件（大学：42件、短期大学：4件）

表彰：【最優秀賞】金沢工業大学  
 【優秀賞】豊田工業大学、日本大学、広島大学  
 【選考委員会特別賞】筑波大学

## 大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰選考 基準・項目

- |                            |                                     |
|----------------------------|-------------------------------------|
| ① 就業体験を伴うこと                | ④ 実施後の教育的効果を把握する仕組みが取られていること        |
| ② 正規の教育課程の中に位置付けられていること    | ⑤ 5日間以上のキャリア形成支援活動の就業体験期間が確保されていること |
| ③ 大学等の組織的な取組として位置づけられていること | ⑥ 大学等と企業等が協働した取組となっていること            |

## 受賞校一覧

大学等名	科目名	取組概要
金沢工業大学 <b>最優秀賞</b>	コーオププログラム コーオプ実習	企業と共同でカリキュラムを設計し、学生は4か月程度の長期就業を通じて専門知識を社会で活用。給与支給により責任ある業務を担い、実践力を養うプログラムを実施。 ・対象：コーオププログラム 全専攻修士1、2年生・大学院進学予定の全学部4年生 選択科目 コーオプ実習 全学部1～4年生 選択科目 ・参加学生：コーオププログラム12名、コーオプ実習13名 ・事前・事後学習を除いた企業等での就業体験日数：コーオププログラム 4か月程度 コーオプ実習 1～2か月程度
豊田工業大学 <b>優秀賞</b>	学外実習Ⅰ 学外実習Ⅱ	学外実習Ⅰ（1年次）では主に生産現場でモノづくりの実作業を、学外実習Ⅱ（3年次）は企業の研究・開発現場や生産管理現場で技術的課題の解決に取り組むプログラムを実施。 ・対象：工学部1、3年生 必修科目 ・参加学生：学部1年生103名、学部3年生111名 ・事前・事後学習を除いた企業等での就業体験日数：学外実習Ⅰ 4週間、学外実習Ⅱ 5週間
日本大学 <b>優秀賞</b>	生産実習	3年次学部共通の「必修・通年科目」とし、1年間を通じた幅広い知識と能力を関連付け、目指すべき技術者像を養う。約1,000機関の実習先を準備し産学連携によりオンラインプラットフォームを整備。 ・対象：生産工学部3年生 必修科目 ・参加学生：1,623名 ・事前・事後学習を除いた企業等での就業体験日数：2週間以上（実働10日間以上）
広島大学 <b>優秀賞</b>	長期フィールドワークⅠ 長期フィールドワークⅡ	卒業論文に代わる必修科目として位置づけ、教育課程に組み込んで実施。地域の主要企業やグローバル企業に長期派遣し、給与を受けながら研究開発や業務に従事。 ・対象：情報科学部3、4年生 必修科目 ・参加学生：18名 ・事前・事後学習を除いた企業等での就業体験日数：4か月×2回
筑波大学 <b>選考委員会特別賞</b>	TIASインターンシップA TIASインターンシップB	国内外のスポーツ組織や行政機関、国際的に活動するスポーツ関連企業等における4週間以上のインターンシップの中で体系的かつ包括的に実務を経験。学修成果は修士論文のテーマにも連動。 ・対象：人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 スポーツ・オリンピック学学位プログラム 博士前期課程1、2年 必修科目 ・参加学生：7名 ・事前・事後学習を除いた企業等での就業体験日数：4週間以上

令和 8 年 4 月 23 日

**世界最高峰の響きをキャンパスへ  
ー Steinway など名器ピアノ 2 台の寄贈を受け、披露演奏会を開催ー**

本学は、公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション（京都市）が実施する「2025 年度ピアノ寄贈事業」に採択され、このたび、世界的に高い評価を受けるコンサートグランドピアノ 2 台の寄贈を受けました。

寄贈されたのは次の 2 台で、教育学部音楽棟演奏室（F101）に設置いたしました。

- Steinway D-274（1 台）[2025 年 12 月寄贈]
- Kawai SK-6（1 台）[2026 年 3 月寄贈]

これらの名器のお披露目の場とするとともに、ローム ミュージック ファンデーション様ならびに、本学の教育・研究活動を日頃より支えていただいている地域の皆さまへの感謝の意を表することを目的として、以下のとおり演奏会を開催します。

### ■演奏会概要

開催日時：6 月 28 日（日）

15：00 開演（14：30 開場）

17：00 終演予定

演奏者：広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授 多賀谷 祐輔

定員：120 人

予約：添付のチラシに記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

### ■演奏会の位置づけ

本演奏会は、単なる記念イベントにとどまらず、以下の意義を持つものです。

- 世界最高水準の楽器に触れる教育環境の充実
- 学生・教員による高度な演奏表現の発信
- 地域社会との文化的連携の強化
- 音楽芸術を通じた大学の社会貢献

### ■寄贈ピアノについて

今回寄贈された 2 台はいずれも国際的なコンサートで使用される最高級モデルであり、音色・表現力ともに極めて優れた特性を有しています。これらのピアノは、今後、

- 実技教育
- 学内外の演奏会
- 若手音楽家の育成

などに広く活用していきます。

## ■公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション

公益財団法人ローム ミュージック ファンデーションは、音楽文化の普及と発展を目的に設立された団体であり、

- 若手音楽家への奨学援助
- コンサートの開催支援
- 教育機関への楽器寄贈

など、多岐にわたる活動を展開しています。

特に本ピアノ寄贈事業は、国内の音楽教育環境の向上に大きく寄与しており、多くの教育機関において質の高い音楽教育の実現を支えています。

## ■今後の展望

本学では、今回の寄贈を契機として、

- 音楽教育・研究のさらなる高度化
- 地域に開かれた文化拠点としての機能強化
- 学生の国際的な活躍の後押し

を一層推進してまいります。

## 【お問い合わせ先】

広島大学大学院人間社会科学研究科音楽文化教育学領域 鍵盤楽器研究室 多賀谷 祐輔 E-mail: ytagaya@hiroshima-u.ac.jp
--

# 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 寄贈ピアノ 披露演奏会

広島大学は、公益財団法人ロームミュージックファンデーション（京都市）「2025年度ピアノ寄贈事業」に採択され、スタインウェイD-274、カワイSK-6の、2台の名器を寄贈していただきました。

本演奏会は、この2台のピアノのお披露目の場として、ロームミュージックファンデーション様、また、本学の研究・教育にご理解、ご支援いただいている地域の皆様への感謝の気持ちを表して開催されるものです。



2026

6/28(日)

15:00 START (14:30 OPEN)

● 広島大学東広島キャンパス  
音楽棟演奏室 (F101)

Performance by  
YUSUKE TAGAYA

多賀谷 祐輔 (本学准教授)

Entry  
Ticket:

入場無料  
(※要予約)

🌐 お問い合わせ・ご予約

広島大学大学院人間社会科学研究科音楽文化教育学領域鍵盤楽器研究室 (ytagaya@hiroshima-u.ac.jp)  
広島大学大学院人間社会科学研究科音楽文化教育学領域 事務室 TEL: 082-424-6834 (平日9:30-16:00)

## Program

ハイドン アンダンテと変奏曲 ヘ短調 Hob. XVII: 6

シューベルト ソナタ 第21番 変ロ長調 (遺作) D960

(以上カワイ使用)

シューマン 幻想曲 ハ長調 Op.17

プーランク 主題と変奏

(以上スタインウェイ使用)

## Piano

# 多賀谷 祐輔

東京藝術大学、同大学院修了。大学院在学中、文化庁新進芸術家海外研修制度によりアムステルダム音楽院に留学。オランダ滞在中は、モダンダンスとのコラボレーション、フォルテピアノなど幅広い分野での研鑽を積んだ。帰国後は、文化庁/日本演奏連盟主催新進演奏家育成プロジェクト、日本ショパン協会例会など定期的なソロリサイタル、内外の演奏家との共演、即興演奏、アウトリーチなど多彩な活動を展開。東京藝術大学非常勤講師、岩手大学特命准教授などを歴任、現在は広島大学准教授として後進の育成にも積極的に携わる。



### Access

JR西条駅からバス「広島大学」行乗車  
⇒「広大二神口」下車徒歩5分

音楽棟(F棟)  
演奏室(F101)



令和 8 年 4 月 23 日

**両生類研究センターの週末開放イベント**  
身近な種から海外の珍しい種まで、  
さまざまなカエルやイモリたちを一般公開します（5/23、6/20）

両生類研究センターでは、年に 5 回ほど週末等の休日に「週末開放日」を設け、1 階展示スペースを一般開放しています。展示スペースでは、日本各地から集められたさまざまな両生類や貴重な標本類などを見ることができます。また、センターで行われている研究や事業が分かりやすく解説されている多数のパネル類を閲覧することができます。



週末開放日にはスタッフを数名配置しますので、両生類に関することをぜひ聞いてみてください。今年は 5 月 23 日（土）を皮切りに、冬が来るまでの 6 回を予定しています。両生類たちが、たくさんの方のご来場を楽しみにお待ちしております！



なお、1 階展示スペースは平日 9～17 時にも開放されていますので、こちらも機会があれば、ぜひご利用ください。

日時：2026 年 5 月 23 日（土）13:00～15:00

場所：広島大学両生類研究センター（<https://amphibian.hiroshima-u.ac.jp/> トップページ上の「アクセス」をご参照ください。）

予約：不要

料金：無料

対象：どなたでもご参加いただけます



今年度は 5、6、7、9、10、11 月に 1 回ずつ週末開放日が予定されています。うち 6 月と 10 月は学生企画と同時開催、7 月と 11 月はスタッフ等による企画展との同時開催となります。詳しくは順次前述のホームページから発表します。



【お問い合わせ先】

両生類研究センター  
事務室 濱本 由美子

TEL:082-424-7328 FAX:082-424-0739



平日のみの常設展

# 週末開放日

日時:2026年5月23日(土)、6月20日(土) 13:00~15:00  
場所:広島大学 両生類研究センター

今年もカエルやイモリたちの活動シーズンがやってきました!両生類研究センターは平日の日中に常設展示として1階展示スペースを開放しているのに加え、今年度は、冬眠期間に入るまでの間に計6回の週末展示を開催いたします。週末開放日は平日の展示とは異なり、解説員として両生研のスタッフが特別に数名常駐しています。両生類にまつわる疑問など、ぜひなんでも聞いてください。また、週末開放日とあわせて、企画展や学生企画が開催される日もありますので、こちらもお楽しみに。皆様のお越しを両生類たちと共にお待ちしております!

**6月20日(土)開催予定!両生研学生企画の催しを行います!**

昨年ご好評いただいた、両生研に所属する学生さんたちが企画する公開講座・ワークショップを開催いたします。内容や詳細が決まり次第、両生類研究センターホームページでご案内させていただきます。



両生類研究センターへのアクセス



両生類研究センターホームページ

お問い合わせ先  
frogjimu@hiroshima-u.ac.jp

予約不要でご入場いただけます。

\*学生企画については、定員が限られますので、申し込みが必要です。HPをご覧ください。

今年度は、週末の展示等を下記の通り予定しています。

- 5月23日(土) 週末開放日
- 6月20日(土) 週末開放日+学生企画
- 7月下旬 週末開放日+企画展
- 9月上旬 週末開放日
- 10月上旬 週末開放日+学生企画
- 11月上旬 週末開放日+企画展  
(広大ホームカミングデー合同開催)



令和 8 年 4 月 23 日

**「海洋文化都市くれ海博 2026」を呉市で開催**  
～呉市と広島大学が連携して推進する「Town & Gown 構想」の  
取り組みの一環～（5/30-31 開催）

呉市と広島大学が連携して推進する「Town & Gown 構想」の取り組みの一環として、「海洋文化都市くれ海博 2026」を開催します。

本イベントは、2024 年 11 月に第 1 回を開催して以来、今回で第 3 回目の開催となります。海洋に関する学びと体験を通じて、地域の魅力発信と産学官連携の深化を図ることを目的としています。

当日は、展示・体験（水中ドローンの操作など）ブースや飲食ブースの設置に加え、各種セミナーを開催します。また、広島大学生物生産学部附属練習船「豊潮丸」や世界初の水素旅客船「ハイドロびんご」の体験乗船、ジャパン マリンユナイテッド 呉事業所（JMU 呉事業所）の見学など、呉ならではのプログラムを予定しています。

さらに、海上保安大学校において合同開催される「海神祭（わたつみさい）」と連携し、メイン会場との間で無料シャトルバスを運行することで、来場者の回遊性向上を図ります。

また、リニューアル工事のため休館していた大和ミュージアムが 2026 年 4 月 23 日（木）にリニューアルオープンすることに伴い、メイン会場周辺は全国から多くの来場者を見込んでいます。

**【くれ海博 2026 概要】**

プログラム等の詳細が決まり次第、改めてご案内します。

日時：令和 8 年 5 月 30 日（土）11：00～16：00  
5 月 31 日（日）10：00～15：00

メイン会場：

- ・大和ミュージアムおよび大和波止場周辺
- ・広島大学生物生産学部附属練習船基地／広島大学海洋・海事未来研究所

主催：呉市・広島大学 Town & Gown 構想 海洋文化都市くれ推進協議会

**【お問い合わせ先】**

呉市・広島大学 Town & gown Office  
TEL:070-1477-8451





海洋文化都市

# くれ海博 2026

**日時** 5月30日(土) 5月31日(日)  
11:00~16:00 10:00~15:00

**会場** 大和ミュージアム及び周辺広場  
広島大学海洋・海事未来研究所  
海上保安大学校、JMU呉事業所  
会場間を結ぶシャトルバスを運行!

海の魅力を知る  
海で世界に  
つながる



大学・企業等  
ブース出展

大和ミュージアム1階 大和ホール



大和波止場



魚と遊ぼう!



体験乗船(事前予約制)  
船内見学

広島大学生物生産学部附属練習船「豊潮丸」体験乗船



世界初の水素旅客船  
「ハイドロじんご」が  
やってくる

ツネインクラフト&ファシリティーズ



水中ドローン



海上保安大学校

合同開催  
わたつみさし  
海神祭



マイクレマルシェ  
がやってくる!!

地元の  
美味しいが  
いっぱい!



JMU呉事業所

造船所見学(事前予約)

ブースによっては  
プレゼントもあるよ



くれ海博

主催: 海洋文化都市くれ推進協議会  
お問い合わせ: 呉市企画課 TEL:0823-25-3273



# 海洋文化都市 くれ海博2026

体験いっぱい!  
プレゼントもあるよ!



「海の魅力を知る」「海で世界につながる」をテーマに、子ども達も楽しく参加できる体験型の海のイベントを開催します。海の魅力を発信し、大学や企業等の海洋・海事についての最新の研究や先端技術に触れることができます。

## メイン会場 大和波止場周辺

### 水中ドローン・タッチプールなど



- VR体験
- 水中ドローン
- ステージイベント
- 船長さんのお話など

楽しい体験イベントがいっぱい!



- 周防大島のなぎさ水族館から来る魚たちと遊ぼう!

瀬戸内海の魚たちも見学できるよ!

呉氏と呉氏Jr.も来るよ!



## 体験乗船(各約40分)・船内見学

★事前予約制 (詳細は右下の二次元コードから)



要予約

体験乗船

場所 広島大学海洋・海事未来研究所

### 世界初の水素旅客船「ハイドロびんご」



要予約

体験乗船

場所 広島大学海洋・海事未来研究所

### 広島大学生物生産学部付属練習船「豊潮丸」



船内見学

5/30のみ

場所 大和波止場

### 呉海上保安部巡視船「きりしま」

(船内見学は予約不要)

## メイン会場 大和ミュージアム1階 大和ホール

### 海洋・海事の先端研究・技術開発の紹介



商船三井グループ

- 最近の海洋・海事DX、GX、スマート水産業等がテーマの展示
- JAXAやスタートアップ企業の研究や技術の紹介

スタートアップ企業ミニセミナー、COI-NEXTシンポジウム開催

※本イベントへのご参加は無料ですが、大和ミュージアムの常設展及び企画展等は有料です。

## サブ会場 海上保安大学校



合同開催 わたつみさい  
**海神祭**

5月30日(土) 10:00~20:15  
※30日(土)は花火もあるよ!※  
5月31日(日) 10:00~15:00

## サブ会場 JMU呉事業所



要予約

5/31のみ

### 造船所見学

★事前予約制

先着順で定員になり次第締切。お早めにお申込みください。(詳細は右側の二次元コードから)

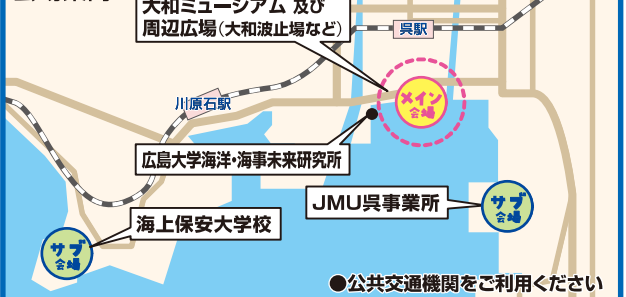
マイレマルシェ

がやってくる!!

飲食ブースなど



会場案内



●公共交通機関をご利用ください

無料シャトルバス運行



各種お申込み等詳しくはこちら

くれ海博 検索



★事前予約について: 5月18日(月) AM9時より申込み受付を開始します

令和 8 年 4 月 23 日

本学の提案課題が、令和 8 年度「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)」に採択されました

ベトナム・ダナン市でカーボンニュートラルと健康都市の同時実現に向け、都市政策を AI 駆動で最適化する日越連携による新たな国際共同研究を開始

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) と独立行政法人国際協力機構 (JICA) が実施する「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)」の令和 8 年度新規採択研究課題に、藤原章正特任教授 (大学院先進理工系科学研究科) を代表とする提案が条件付きで採択<sup>(※)</sup>されました。全体の申請 90 件のうち、採択されたのは 10 件です。本プロジェクトは、令和 9 年度から 5 年間、JST の委託研究費および JICA による ODA 技術協力のもとで実施されます。

本研究は、ベトナム・ダナン市を対象に、カーボンニュートラルと健康都市の同時実現に向け、AI を活用して都市交通と都市構造を一体的に分析し、政策の設計から評価までを支援する仕組みの構築・実装を行うものです。人の移動行動と都市構造を統合的に把握し、温室効果ガス削減と高齢化に伴う移動制約の解消を両立する都市基盤の構築を目指します。

ダッシュボードによる現状可視化、世界的にも先進的な「まちぐるみシミュレータ」による予測、デジタル・サンドボックスによる政策評価を通じ、データに基づく都市政策の設計・実装を推進します。日本の公共交通指向型開発の知見共有を通じ、事業終了後も自立的に運用可能な都市基盤の構築を図ります。

研究課題名: AI 駆動型モビリティ・プラットフォームを用いたカーボンニュートラルで健康的な都市に関するプロジェクト

研究代表者: 藤原 章正 大学院先進理工系科学研究科・特任教授

日本国参画機関: 広島大学 (代表機関)、名古屋大学、筑波大学、地球環境戦略研究所 (IGES)

ベトナム国参画機関: ハノイ工科大学 (代表機関)、フェニカ大学、ダナン大学工科大学、ベトナム交通運輸大学、ヴィン大学、ダナン AI・半導体研究研修センター

-----  
※外務省による相手国政府との実施にかかわる国際約束の締結、相手国関係機関との実務協議が合意に至り、正式に共同研究を開始するまでの暫定処置

【お問い合わせ先】

広島大学大学院先進理工系科学研究科・渡邊  
TEL:082-424-4314 e-mail: contact@its.hiroshima-u.ac.jp

# SATREPS

地球のために、未来のために

地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム

## AI 駆動型モビリティ・プラットフォームを用いた カーボンニュートラルで健康的な都市に関するプロジェクト

- 研究代表者 藤原 章正 (広島大学・特任教授)
- 研究領域 環境・エネルギー (カーボンニュートラル)
- 相手国 ベトナム社会主義共和国

### 【研究課題の概要】

#### モビリティ・プラットフォームの開発と社会実装

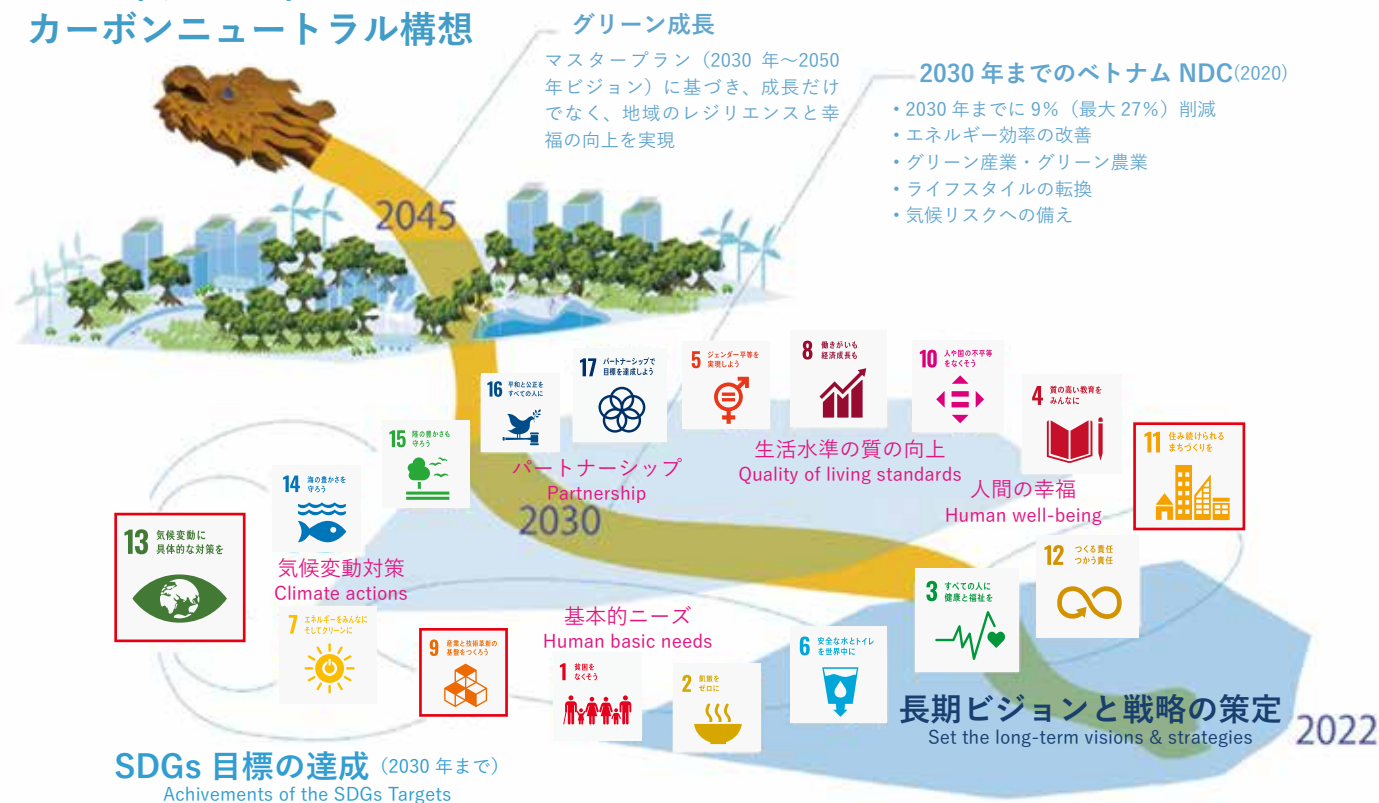
ベトナム・ダナン市を対象に、都市交通と都市構造を統合的に捉え、人と車両の時空間的な移動を高度に把握・予測・制御するためのモビリティ・プラットフォームの開発と社会実装に取り組みます。特に、急速な都市化と高齢化が同時進行する新興大都市において、持続可能な都市運営を実現するための基盤技術の確立を目指します。

#### 都市交通マネジメントによるカーボンニュートラルへの貢献

開発したプラットフォームを活用し、交通需要管理や公共交通の最適化等の施策が、CO<sub>2</sub>排出削減および人々の健康に与える影響を定量的に評価します。これにより、ダナン市のカーボンニュートラル構想の実現に向けた実効性の高い政策立案を支援します。さらに、日本の経験を踏まえ、現地行政と連携した社会実装を進めることで、事業終了後も自立的に運用可能な都市政策基盤の構築に貢献します。

### 2050年ダナン市

#### カーボンニュートラル構想



ベトナムの温室効果ガス削減目標(NDC:パリ協定に基づく国別削減目標、2020年)では、2014年を基準年とするBAU(現状維持)シナリオと比較して、温室効果ガス(GHG)排出量を9%削減することを目指しています。特にエネルギー部門では、BAU比で5.5%に相当する5,150万トン(MtCO<sub>2</sub>e)の削減が見込まれています。また、この削減目標は、国際的な支援が得られた場合には、BAU比で最大27%まで拡大する可能性があると考えられています。



広島大学法学部では湯崎英彦客員教授（前広島県知事）の  
授業を開講します

法学部では、法学、政治学、社会学に関するさまざまな専門科目を学びます。広島大学法学部では、主に1年次生を対象に、今後履修する専門科目への導入として、「法学基礎」を開講しています。

このたび、広島大学法学部では、4期16年にわたり広島県知事を務められた湯崎英彦氏を客員教授としてお迎えし、県政の最前線で培われた豊富なご経験について、「法学基礎」の7月1日（水）の授業において講演いただくこととなりました。県政は法学部の各専門科目と密接に関わることから、学生にとって大変貴重で示唆に富む機会となることが期待されます。

1. 日時・場所等

令和8年7月1日（水）16:20～17:50

広島大学東千田キャンパス（広島市中区東千田町1-1-89）

東千田未来創生センターM401/402 講義室

2. 受講者

- 法学部昼間コース：145人
- 法学部夜間主コース：32人
- 経済学部夜間主コース：15人

3. 授業科目

法学基礎

お問い合わせ先

広島大学東千田地区支援室 法学部担当

TEL：082-542-7057

E-Mail：[senda-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:senda-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp)